

JIS

自溶合金溶射

JIS H 8303 : 2010

(JTSS/JSA)

平成 22 年 10 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 非鉄金属技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	里 達 雄	東京工業大学
(委員)	伊 藤 喜 昌	社団法人日本チタン協会
	岩 本 佐 利	社団法人日本電機工業会
	上 本 道 久	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	江 崎 正	ソニー株式会社
	緒 形 俊 夫	独立行政法人物質・材料研究機構
	鎌 土 重 晴	一般社団法人日本マグネシウム協会 (長岡技術科学大学)
	駒 林 正 士	日本伸銅協会 (三菱マテリアル株式会社)
	中 野 利 彦	株式会社神戸製鋼所
	根 上 和 彦	社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	橋 本 隆	社団法人自動車技術会 (日野自動車株式会社)
	長谷川 隆 代	昭和電線ケーブルシステム株式会社
	林 央	独立行政法人理化学研究所
	星 幸 弘	日本鋳業協会
	吉 田 英 雄	住友軽金属工業株式会社

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 51.3.1 改正：平成 22.10.20

官 報 公 示：平成 22.10.20

原 案 作 成 者：日本溶射協会

(〒577-0809 大阪府東大阪市永和 2-2-29 永和ビル 1 号館 TEL 06-6722-0096)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：非鉄金属技術専門委員会 (委員長 里 達雄)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類及び記号	2
5 溶射加工	2
5.1 設計時の考慮	2
5.2 自溶合金の選択	2
5.3 被溶射品の前処理	5
5.4 溶射及びフュージング	6
5.5 溶射及びフュージング作業	6
5.6 安全衛生対策	7
6 品質	7
6.1 外観	7
6.2 溶射皮膜断面の組織	7
6.3 溶射皮膜厚さ	7
6.4 溶射皮膜硬さ	7
7 試験方法	8
7.1 外観試験	8
7.2 溶射皮膜断面組織試験	8
7.3 溶射皮膜厚さ試験	8
7.4 溶射皮膜硬さ試験	8
8 検査	9
9 表示	9
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	10
解 説	13

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本溶射協会 (JTSS) 及び財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS H 8303:2004** は改正されこの規格に置き換えられ、また、**JIS H 9304:2005** は廃止され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権及び出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

自溶合金溶射

Thermal spraying of self-fluxing alloys

序文

この規格は、1999年に第1版として発行された **ISO 14920** を基に、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、主に製品、部品などに対し、耐摩耗性、耐食性、耐熱性などを付与する目的で施す自溶合金溶射について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 14920:1999, Thermal spraying—Spraying and fusing of self-fluxing alloys (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7725 ビッカース硬さ試験—試験機の検証及び校正

JIS B 7734 ヌーブ硬さ試験—試験機の検証

JIS H 8200 溶射用語

JIS H 8250 溶射の記号による表示方法

JIS H 8260 溶射用粉末材料

JIS H 8401 溶射皮膜の厚さ試験方法

JIS Z 2244 ビッカース硬さ試験—試験方法

JIS Z 2251 ヌーブ硬さ試験—試験方法

JIS Z 8401 数値の丸め方

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS H 8200**による。